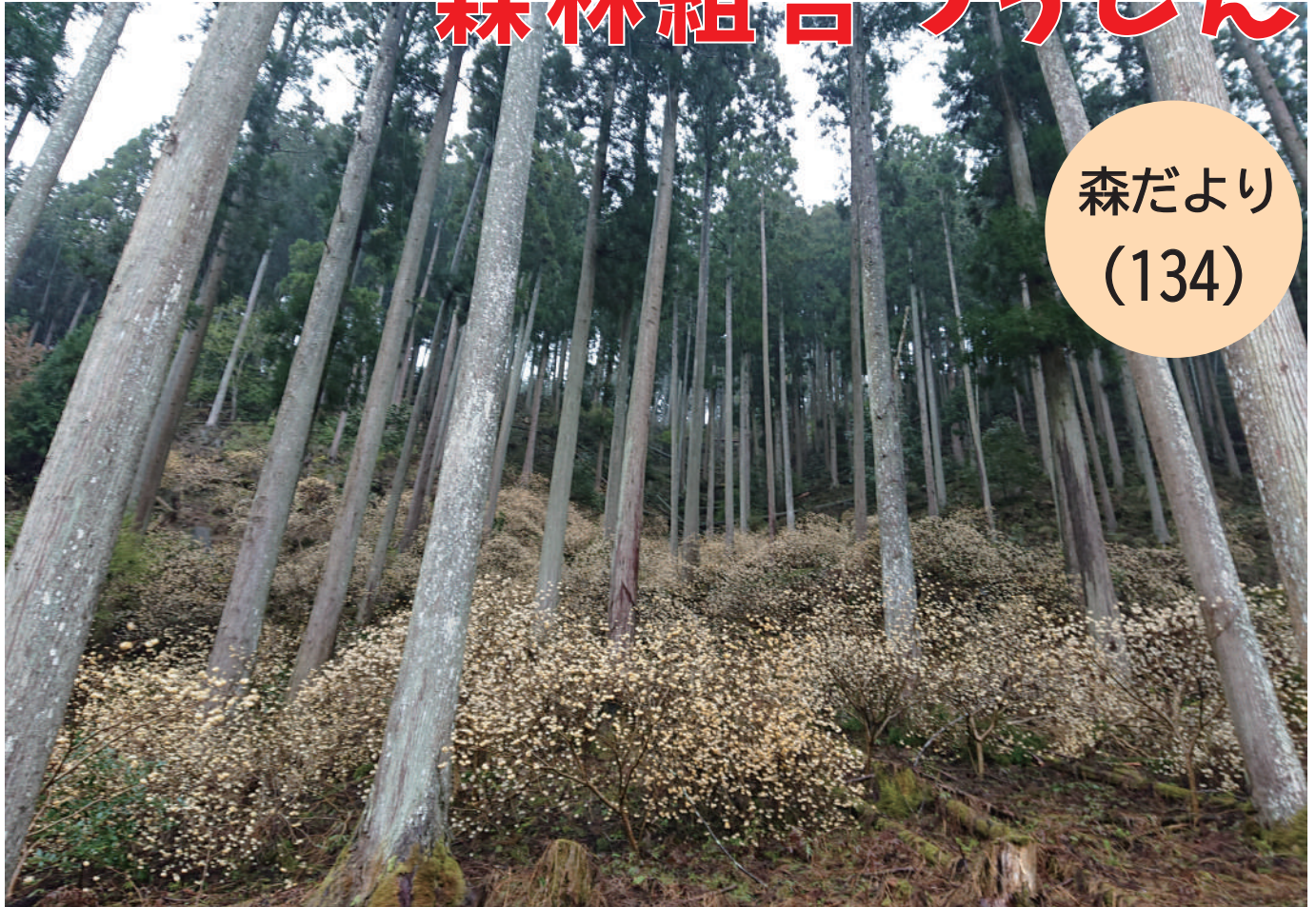


知っとこ!!!

新春号

No.134/2023/ Spring

森林組合つうしん



森だより
(134)

写真：日吉町生畑のミツマタ群生地

も	通常総代会開催 P 1	
	事業1課	店舗（森の道具屋） 春のお客様感謝祭 他 P 5
く	町内の雪害状況 P 2	総務課
	令和5年度森林整備計画 . . . P 3	総代会議案書の訂正 他 . . . P 6
じ	事業2課	
	新型3tトラック導入 他 . . P 4	市況・編集者の独り言 . . . P 7

発行責任 日吉町森林組合

〒629-0341 京都府 南丹市 日吉町 殿田 尾崎 8-1

E-mail h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp

Tel 0771-72-0017

Fax 0771-72-1375

森林組合WEBサイト

日吉町森林組合



通常総代会の報告

去る、3月25日(土)午後に、南丹市日吉町生涯学習センターをお借りして「令和4年度(第56事業年度)通常総代会」を開催いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大も収まりを見せ、今回の総代会はコロナ以前同様の通常開催とさせていただきました。

当日は、36名の総代の皆様に御出席いただき、これに事前に届出いただいた93通の書面議決と5通の委任状を足し合わせると134名となり、総代会成立要件である総代定数(205名)の過半数を超え、総代会は成立となりました。

来賓として京都府南丹広域振興局・局長の南本尚司様(代理)、南丹市・市長の西村良平様(代理)、南丹市・市議会議長の前田義明様、京都府森林組合連合会・代表理事会長の青合幹夫様(代理)の4名の方々に御臨席賜りました。

13時30分に湯浅組合長の挨拶をもって総代会をスタートし、来賓の方々から御祝辞を頂いた後、畑郷地区総代の松尾邦夫様に議長をお願いして、議案の審議に入りました。

令和4年度は、森林整備事業の間伐面積が当初計画に達しなかったものの、作業道開設延長と木材搬出は概ね当初計画通りの結果となり、また危険木処理などの請負事業も多く受注することが出来ました。購買事業についても、インターネットを通じた商品の販売が好調で当初計画を大きく上回る成績を収めることが出来ました。その結果として、事業総取扱高が4億6,685万円で税引前当期純利益は1,305万円となりました。したがって、組合員の皆様へ7%の出資配当を提案させていただきました。これらを含めた令和4年度事業報告及びそれに関連する内容、令和5年度の事業計画及び関連項目など全11議案を提案させていただき、全て原案通り可決承認いただきました。詳細につきましては「令和4年度総代会議案書」をご覧ください。

お忙しい中をご出席いただきました総代の皆様には、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。また、全ての組合員の皆様に、今後とも変わらぬご指導やご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。通常総代会の報告とさせていただきます。



議長の松尾邦夫様

事業 1 課

大雪の被害状況と被害木の処理方法について

今年の 1 月 24 日(火)～25 日(水)と 27 日(金)～28 日(土)にかけて、町内に大雪が降りました。特に 27 日～28 日にかけては湿雪となり、町内の至る所で倒木などが発生し木住や生畑、中世木では停電となりました。また、民家裏や道路沿いの太い広葉樹などが根から倒れ、家に当たるなどの被害も多く発生しました。



スギ・ヒノキ林においても、倒木や折損木が発生しており林道や作業道が通行出来なくなったりします。3 月末までは民家裏などの生活圏における倒木や折損木の処理に追われ、林内の被害木処理にまで手が回っておりませんでした。4 月以降順次処理を進めていきます。

スギ・ヒノキ林の被害木処理については、以下のように対応させていただく予定ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 町内の林道及び作業道の通行に支障となっている倒木については、車両が通行出来るよう森林組合で処理を行います。
- ② 林道及び作業道沿いで被害木が多く発生している箇所においては、森林組合で伐採搬出処理をさせていただきます。ただし、処理を行うのは林道や作業道から届く倒木や折損木、傾斜木のみとし、搬出処理できないものは今後間伐を実施する際に併せて処理を行います。
- ③ 上記 2 点の処理費用については、今のところ京都府や南丹市からの助成金等はありませんが、所有者の皆様にご負担金をお支払いいただくことはありません。(ただし、民家や公共施設、お墓などへの倒木処理についてはこの限りではありません。)
- ④ 被害木の処理を実施させていただく所有者の方々には、事前に森林組合より連絡をさせていただき、処理の可否を確認させていただきます。

簡単ではありますがスギ・ヒノキ林の被害木について、以上の考え方に基づき処理を実施してまいります。ご不明な点等ございましたら森林組合へお問い合わせ下さい。

なお、被害が多く（まとまって倒木や折損木が）発生しているとして、3 月 27 日時点で把握している地域は以下の通りです。

【殿田腰林、田原大山、田原岩谷、四ツ谷長谷と奥山、生畑小畑、中世木伊ノ谷・谷山・一本木】

上記以外においても、倒木や折損木の発生状況については地域の皆様からご連絡をいただいております。

令和5年度の町内森林整備計画について

先の報告の通り、総代会において令和5年度事業計画が承認されました。町内の森林整備につきましては、間伐面積145ha、作業道開設延長10,000m、木材生産量15,500m³を目標としております。大雪による被害木処理も重要ですし、町内の森林整備を計画的にきちんと進めて行くという事も、地域森林の適切な管理を掲げる日吉町森林組合にとっては非常に重要な取組になります。

しかしながら、前回皆様にお答えいただいたアンケートの中には「奥地などにある小面積のスギ・ヒノキ人工林についても、きちんと整備をしてほしい」というご意見をいただいているのも事実です。補助制度などを最大限活用し、少しでも皆様のご負担を少なく出来る手立てを探りながら、奥地などのスギ・ヒノキ人工林を含めたより多くの森林の整備を進めていきたいと考えております。

組合員の皆様には、森林整備活動につきまして引き続きご指導、ご鞭撻ならびにご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

令和5年度につきましては、以下の地域においてプランニングの実施を予定しております。その他の地域においてもご要望などございましたらお気軽にご連絡ください。

○令和5年度プランニング調査予定箇所

志和賀地区：滝ヶ尾・清水嶽

保野田地区：フケ山・中ノ谷

上胡麻地区：道見～奥・エノキ谷・宝子・アシ谷

田原地区：口虫谷西平・焼原東平・東山・大滝・岩ヶ谷・北谷・大野谷

佐々江地区：北谷

四ツ谷地区：平ノ上

生畑地区：大藤谷

中世木地区：南山・細迫・東牧山界限

天若地区：角谷・東カヤ・曲り・桂ヶ谷



生畑小畑地内



天若滝日ノ谷地内

事業 2 課

新型 3 t トラックを導入 !!

これまで木材や農業資材の運搬で活躍していた 2 t トラックが、購入後（中古車）15 年程経過し、年々維持修繕費用の増加が顕著になってきていました。そこで、職員から惜しまれつつも 2 t トラックには引退をしてもらい、新たに 3 t トラック（下写真）を導入しました。

この新型トラックは、日野自動車さんが現場職員の意見を基に作った林業専用車両となっており、過酷な林業現場にも耐える仕様になっています。

今後、間伐作業中の現場ではもちろんのこと、組合員の皆様からご注文頂く暗渠排水用木材などの配達でも活躍が期待されます。交通規則の遵守と安全運転第一で運行して参りますので、よろしくお願い致します。



京都府立林業大学校生のインターンシップ受入れ ～学生 2 名が林業の現場を体験～



神谷君（左上写真）は、現場技術者になることを希望していて、期間中は、特殊伐採（高木伐採）の現場を経験していただきました。伐採された木の枝を一生懸命に鋸やチェーンソーを使い切っていました。神谷君から「林業が楽しい」と聞いたのが一番嬉しかったです。



高屋君（左下写真）は、森林整備計画を行うプランナーになることを希望していて、期間中は雪害のある山林や、これから間伐を行う山林の調査を手伝ってもらいました。高屋君から「学校では学べない専門的な内容が学べました」と言ってくれたのが嬉しかったです。

2 人のように、若い人がどんどん林業という仕事を選んでもらえるとうれしいのですが。

森の道具屋

春のお客様感謝祭を開催！(4/22・4/23)

長らくお休みをしておりました「春のお客様感謝祭」を4月22日(土)・23日(日)に開催致します。沢山の商品をご用意してお待ちしておりますので、是非ご来店下さい。

春のお客様感謝祭では、各種メーカーの新商品や、今まで取扱いのなかった新しいメーカー（HiKOKI）の商品の販売を行います。広告に掲載しきれないほど沢山の商品を取り揃えておりますので、時間が許す限りじっくりとお選び下さい。

電動機械メーカー「HiKOKI」取扱い開始

タレントのヒロミさんお勧めの電動工具メーカー「HiKOKI」の販売を始めます。森の道具屋で販売する機械類は、組合で修理ができるものをメインにし販売しています。新たに販売を行う「HiKOKI」では、組合で修理が出来る環境に協力をしてくれています。これから、色々な機械が電動化していきます。これまで同様にアフターサービス（修理など）が出来るよう、各メーカー協力の元取り組んでいきますので、よろしくお願い致します。



HiKOKI には、園芸用の草刈機やチェーンソーからインパクトドライバーなどの大工工具、電動クレーボックスなどのアウトドア商品まで品揃え豊富です。全商品を一度に展示できませんが、順次増やして行きますので、よろしくお願い致します。



小型機械の修理手数料の変更について

前回の「知っとこ!! 森林組合つうしん」で、4月1日より修理手数料を改定させていただきたいとお知らせしておりましたが、組合員の皆様への連絡等が遅れており、改定日を5月1日から変更をさせていただきます。

4月中は、店内にて新料金のご案内を行っておりますので、ご確認をお願いいたします。また、本誌に「修理手数料改定について」を同封いたしますので、合わせてご確認くださいませようお願い致します。

総務課

令和4年度総代会議案書の訂正について

去る3月25日に「日吉町森林組合第56事業年度総代会」を開催させていただきましたところ、無事全ての議案が原案通り承認されました。ありがとうございました。

ただ、総代・組合員の皆様にお送り致しました議案書に一部誤りがございました。訂正について案内をさせていただきます。お手元議案書の訂正をお願い致します。

議案書9ページ

③森林整備部門の個別事業の報告内容に一部誤りがございます。

報告3行目 現行「受託分は、14,562万円で当初計画の92%と・・・」と記載しておりますが、正しくは「受託分は 145,712千円で当初計画の92%と・・・」です。

続いて、6行目「利用事業では、・・・利用事業全体で458 万円(同15%)と・・・」と記載しておりますが、正しくは、「利用事業全体で458 千円(同15%)と・・・」です。

一年間の活動の締めくくりとなる議案書で、このような間違いがありましたこと心よりお詫び申し上げます。今後はこのような事が起こらないよう改善してまいります。

③ 森林整備部門

森林組合の中心事業となる森林整備事業は、除・間伐面積122ha（当初計画比76%）、作業道開設延長9,498m（同105%）、搬出材積13,969m³（同96%）という結果になりました。

受託と請負の取扱高の内訳では、受託分は 14,562万円で当初計画の92%と計画には届きませんでしたが、危険木伐採事業や公共事業などを受注できたことから、請負分は9,379万円で当初計画の109%と計画を上回る結果となりました。

利用事業では、全ての区分で当初計画を下回る結果となり、利用事業全体で458 万円（同15%）となりました。

購買事業では、日用品のインターネット販売を開始し、日用品の販売高が541万円で前年度の514%と大幅に増加し、取扱高3,377万円（同118%）と当初計画を大きく上回る結果となりました。

アンケートのご回答のお礼

前回の「知っとこ!!森林組合つうしん」に同封させていただきましたアンケートについて、沢山のご回答をいただきました。これからの組合運営に役立て、組合員の皆様さらに愛される組合となれるよう精一杯努力していきます。

回答頂きましたアンケート結果の一部を報告いたします。

アンケート回答数：164人 森林組合が行うサービスの利用率：85%

○山の管理についての満足度73%(満足・やや満足)○購買店舗についての満足度59%(満足・やや満足)○事業全体での価格設定についての満足度41%(満足・やや満足)となりました。組合の価格設定については、意見や要望にも、厳しい意見が沢山ありました。今後はサービスを維持し、価格を少しでも下げられるよう努力していききたいと思います。



木材市況

(資料提供・北桑木材センター R5.3.27)

スギ	中目	4m×18～24 cm	¥ 9,000～11,000	スギの値下がりが全体的に大きくなってます。 合板材・バイオマス材の値については維持しています。
	〃	4m×24～30 cm	¥ 13,000～18,000	
	柱	3m×16～20 cm	¥ 13,000～15,000	
	〃	6m×16～20 cm	¥ 15,000～18,000	
	元木・良材	4m×24 cm上	¥ 40,000～50,000	
ヒノキ	中目	4m×18～24 cm	¥ 13,000～15,000	
	〃	4m×24～30 cm	¥ 18,000～20,000	
	柱	3m×16～20 cm	¥ 17,000～18,000	
	〃	6m×16～20 cm	¥ 20,000～22,000	
	土台	4m×14～16 cm	¥ 12,000～14,000	

編 集 者 の 独 り 言

令和4年度最後の締めくくりである「通常総代会」も、無事に終わりホッとしました。

年度末の3月は、世間でも色々な事が節目を迎えます。NHK 朝の連続テレビ小説「舞いあがれ」もその一つです。毎日録画をして週末に家族で一気見していたのですが、感動のシーンを観て横で妻が泣くというのが我が家の定番でした。

そんな「舞いあがれ」で強く印象に残っているシーンがあります。それは主人公の舞が、実家の工場で働く職人さんの紹介をSNSでしようとする場面です。最初に紹介するネジ職人の笠巻さんのインタビューをした時、笠巻さんが「ただのネジ職人で、ネジ作ることしか出来へん俺はそなんええよ」と言った時、「ネジ1個作るんでも、ただネジ作るだけやないです。笠巻さんのネジ作る技術はホンマ凄い思うんです。それを沢山の人に知ってもらいたいんです」と。

このシーンを観ていて「林業界も同じやなあ」と思いました。林業現場で日々働く人が持っている技術もホンマ凄いんです。簡単に木を伐り倒しているように見えて、その木の傾きや枝張りを見て重心がどうなっているかをパッと読み取り、その上で倒したい方向に倒す。これはかなりレベルの高い技術やと思います。もちろん、他にも凄い技術が林業現場には詰め込まれています。

「舞いあがれ」のように、どんどん情報発信をして沢山の人にこんな格好良い仕事があるということを知ってもらい、来年の4月には少しでも多くの若者が林業に就職してもらえれば嬉しい限りです。

編集者：小林